がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	H22.11.11	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	大腸(CK)−009		診療科名	消化器内科・消化器外科	
レジメン名	パニツムマブ+FOLFIRI療法				
レジメン補足	パニツムマブ+イリノテカン+レボホリナート+フルオロウラシル				
がん腫など	切除不能結腸・直腸癌				

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
パニツムマブ (ベクティビックス)		6mg/kg	●																										
イリノテカン (トポテシン、カンプト)	炎症	150mg/m^2	●																										
レボホリナート		200mg/m^2	●																										
フルオロウラシル (5-FU)	炎症	400mg/m^2	●																										
フルオロウラシル (5-FU)	炎症	2400mg/m^2	●	●	●																								

1コース期間	14 日	目標コース数	□有 （ コース）	■無 （PDまで）
点滴時間				
注意事項など	インラインフィルター付き輸液セットを用いること 制吐目的に、Day2-3にデキサメタゾンの内服(8mg)もしくは点滴投与(6.6mg)を行うこと			

Day 1

《メイン》 インラインフィルター付きの輸液セット

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	点滴時間 投与方法
①	生食	100mL	15分 点滴
	グラニセトロン	3mg	
	デキサメタゾン(デキサート)	9.9mg	
②	生食	100mL	1時間 点滴
	パニツムマブ	6mg/kg	
③	生食	50mL	フラッシュ
④	生食	250mL	2時間 点滴
	イリノテカン	150mg/m^2	
⑥	生食	100mL	全開 点滴
	フルオロウラシル	400mg/m^2	

《側管》

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	点滴時間 投与方法
⑤	④の投与と同時に投与開始		
	生食	250mL	2時間 点滴
	レボホリナート	200mg/m^2	

⑥の投与以降はインフューザーポンプと末梢持続点滴で以下の投与方法を選択

Day 1-3 (インフューザーポンプ)

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	点滴時間 投与方法
⑦	生食	必要量	46時間 持続点滴
	フルオロウラシル	2400mg/m^2	
⑧	生食注シリンジ	10mL	フラッシュ

Day 1-3 (末梢持続点滴)

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	点滴時間 投与方法
⑦	生食	500mL	46時間 持続点滴
	フルオロウラシル	2400mg/m^2	
⑧	生食	50mL	フラッシュ